平成３０年度「携帯電話などの利用状況に関するアンケート調査」の結果について

１　調査の概要

（１）　調査日時　　平成３０年７月

（２）　対　　象　　立川市立小・中学校に在籍する小学校４年生から中学校３年生までの児童・生徒及び校長

※　各学年１学級を抽出して実施（ただし１学年５学級以上の学年は２学級で実施）

（３）　目　　的　　児童・生徒のＳＮＳ学校ルール及び家庭ルールの活用、策定状況を把握するとともに、児童･生徒のＳＮＳ使用についての意識やトラブル等の現状を捉え、今後の各学校における人権教育、安全教育、情報モラル教育等の充実に資する。

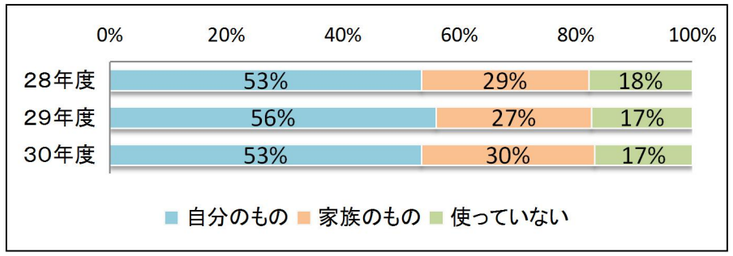
２　結果の概要

Ⅰ　中学校における携帯電話等の所持率が増加

「あなたは、携帯電話またはスマートフォンを使っていますか。」

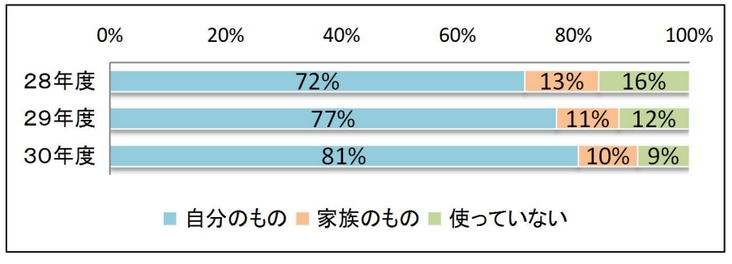
【小学校】

	自分のものを持っていて使っている	家族のものを借りて使うことがある	持っていないし使ってもいない
小学４年	５１％	３１％	１８％
小学５年	５３％	３０％	１７％
小学６年	５６％	２８％	１６％
小学校計	５３％	３０％	１７％



【中学校】

	自分のものを持っていて使っている	家族のものを借りて使うことがある	持っていないし使ってもいない
中学１年	７８％	１３％	９％
中学２年	８３％	９％	８％
中学３年	８２％	９％	１０％
中学校計	８１％	１０％	９％



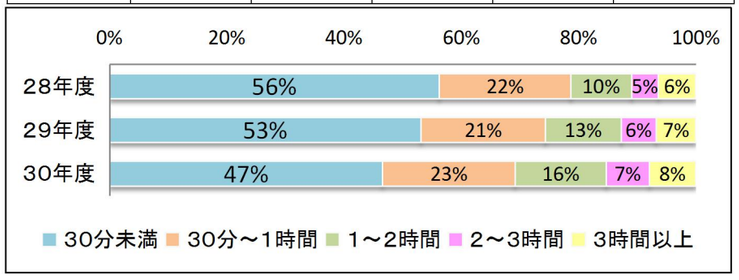
○　小学校では学年が上がるにつれて所有率が高くなる傾向があるが、経年での変化は見られない。それに比べて中学校では自分のスマートフォン等の所有率が年々高くなってきている傾向が見ら

Ⅱ　小中学校とも使用時間が増加傾向

「携帯電話やスマートフォンを一日にどの位の時間使用していますか。」

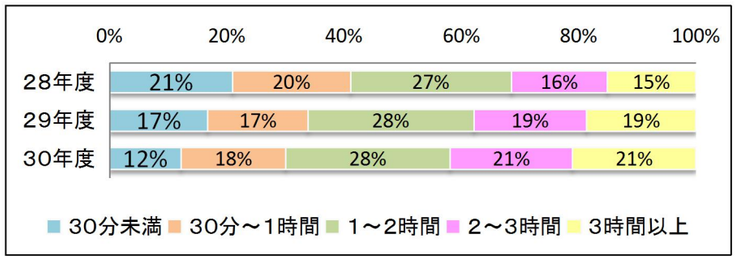
【小学校】

	30 分未満	30 分～１時間	１時間～２時間	２時間～３時間	３時間以上
小学４年	５６％	２２％	１２％	４％	６％
小学５年	４６％	２３％	１７％	７％	６％
小学６年	３８％	２２％	１８％	１１％	１１％
小学校計	４７％	２３％	１６％	７％	８％



【中学校】

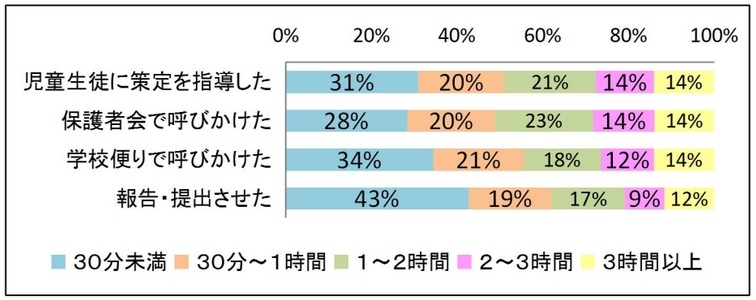
	30 分未満	30 分～１時間	１時間～２時間	２時間～３時間	３時間以上
中学１年	１５％	１８％	２９％	１９％	１９％
中学２年	９％	１９％	２８％	２０％	２４％
中学３年	１３％	１７％	２７％	２３％	２０％
中学校計	１２％	１８％	２８％	２１％	２１％



○　小中学校ともに、使用時間が年々長くなってきている傾向が見られる。これは所持率の上昇とともに、SNS やスマートフォンゲームにかける時間が増えてきていることが原因の一つと推察でき

Ⅲ　「SNS 家庭ルール」における学校の働きかけが使用時間に影響

学校質問紙「『SNS 家庭ルール』の策定についてお答えください」と児童・生徒質問紙「携帯電話やスマートフォンを一日にどの位の時間使用していますか。」との相関（クロス集計）

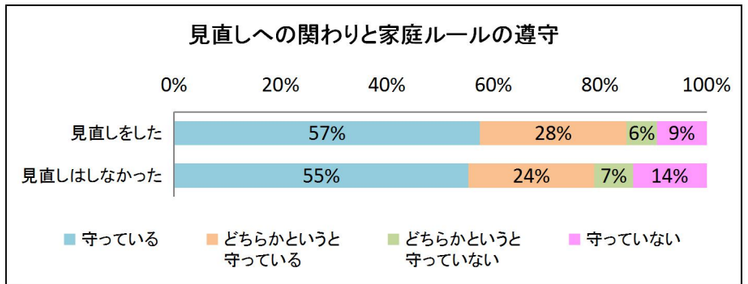


○　「SNS 家庭ルール」を呼びかけるだけでなく、どのようなルールをつくったのか報告・提出まで行った学校の児童・生徒のスマホ等の使用時間は、少ない傾向が見られた。

Ⅳ　学校ルールの見直しを行った学校の児童・生徒は家庭ルールを守る。

「『SNS 学校ルール』の見直しは行わなかった。」と回答した学校数と家庭ルールの遵守状況との相関（クロス集計）

小学校　６校　　中学校　３校



○　多くの学校で「SNS 学校ルール」の見直しを行っている。見直しを行った学校の児童・生徒の方が家庭ルールを守っている傾向が見られた。